

令和3年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果について

標記調査結果について、千葉県ホームページで公表することとしたい。

1 「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」について

- 市町村のがん検診(集団・個別)実施体制の実態を把握し、今後重点的に強化すべき体制面の課題を把握することを目的に、平成21年度以降、毎年、国立がん研究センターが各都道府県を通じて、全国市区町村に対し「事業評価のためのチェックリスト※」項目の実施状況について調査を行っている。
- 国立がん研究センターの自治体向けホームページにおいて、都道府県単位での集計結果に加えて、平成28年度調査からは、市区町村別のチェックリストの遵守率が公表されるようになった。
- 本県では、市町村におけるがん検診の精度向上に資するため、平成26年度から市町村単位の調査結果を県ホームページにおいて公表している。

2 令和3年度調査の実施について

調査内容	<p>平成28年4月改訂「事業評価のためのチェックリスト」により調査が行われた。</p> <p>≪令和3年度チェックリスト項目数≫</p> <p>①胃がん検診(エックス線) 52、 ④肺がん検診 51 ②胃がん検診(内視鏡) 52、 ⑤乳がん検診 55 ③大腸がん検診 52、 ⑥子宮頸がん検診 55</p> <p>※国立がん研究センター「令和3年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果報告書を基に作成。 なお、肺がん検診に係る事業評価のためのチェックリストは 55 項目あるが、喀痰細胞診を実施していない市区町村もあるため、喀痰細胞診に関する4項目を除いて評価しており、県の調査結果等からも除外している。</p>
調査期間	令和3年12月14日(火)～ 令和4年2月15日(火)
調査方法	WEB 調査システムへの回答入力

3 調査結果

資料3-2～4のとおり

4 公表(案)

資料3-4～6のとおり

実施率一覧、市町村別回答一覧及び棒グラフを千葉県ホームページに掲載する。